

名古屋製絲場。佐賀縣鳥栖町片倉組鳥栖製絲場。長野縣諏訪郡川岸片倉組諏訪製絲場。福島縣二日市町今組製絲場。埼玉縣新町今組製絲場。徳嶋縣名東郡加茂名村小口組製絲場。長野縣諏訪郡平野村小口組製絲場。諏訪郡岡谷製絲合資會社。埼玉縣熊谷町林組熊谷製絲場。和歌山縣伊都郡妙寺町伊都製絲合資會社。

本部の狀況は以上に止め置き申す可候。林檎實に櫻の下葉染むる頃同人諸彦の移動御報知申す心組に候會員諸君の益々御進展を祈りて擱筆仕候。

本部日誌抄

大正四年

四月十二日 小川保、田浦準二君本校助手とある

十七日 群馬縣原蠶種製造所技手牛山作彌君來校

廿六日 長濱農學校教諭清水二郎君生徒四十二名引卒來校

廿八日 濱井壽夫君本校助手となる

卅日 北村一郎、小松原徳治、藤原卓之の三氏本校助手となる

卅日 穂坂小牧君來校下伊那郡松尾村吉澤蠶業研究所の研究生として本校に助手とある

五月六日 酒井末吉君盛岡農學校赴任の途路來校

十八日 西村敬之助君本校助手となる

廿六日 同窓會報百六十部出來會員に發送す

六月廿日 飯島正胤君來校

廿二日 矢島剛、唐澤正平君徵兵檢査の爲め來田來校

七月七日 愛知縣寶飯郡技手宮城嘉貞君歸郷の途路來校

七月十九日 學校の近況會員の移動を報告す

八月四日 佐藤良太郎君來校

十一日 矢島剛、戸倉八峯二氏來校

十六日 松澤德榮君來校

廿二日 宮下雅敏君廣東三井洋行轉任の途路來校在校卒業生にて送行會を開く

廿八日 佐谷戸健次郎、宮城嘉貞、小山庸人君來校

廿九日 宮城嘉貞、小山庸人、林部源三郎、清水二郎君來校

卅日 奥田達雄、小林國造、久保田秀雄、飯島正胤の諸君來校懇親會を開く

九月六日 向山隆福君東北理科學大學入學の途路來校

九月六日

倉澤美德君來校

十六日

化學部にて研究中ありし甲斐孜君、横濱生絲検査所技手として赴任せらる

十八日

松井清三君、神奈川縣高木製絲場に赴任

廿五日

宮本昇君來校

廿九日

依田信一君來校

十月一日

宮田鉄五郎君製絲部助手となる

二日

一志藏人君來校

五日

小松原徳治君岩手縣東磐井郡千厩町蠶業學校に赴任

八日

矢澤茂登一君生徒引卒來校

十三日

依田信一君來校

十九日

細川三郎君來校屑物(蛹)の研究の爲め約一週間滞在

廿七日

佐谷戸健次郎君來校

卅日

穗坂小牧君吉澤蠶業研究所に赴任

十一月六日

小嶋五郎君來校

全 全

本部の近況を會員に報告す

十二日 岸益吉氏化學部助手となる

十八日 唐澤正平君入營の途路來校

廿三日 濱井壽夫君台灣總督府赴任の爲め本校を辞さる

廿七日 兒玉忠雄、矢田部忠吉の二氏來校

廿八日 北村一郎君入營の爲め本校助手辞任

全 倉澤美徳君來校

廿九日 大崎忠吉、樋口五十三君來校

十二月 一日 中澤忠君除隊歸郷の途路來校

一 日 三輪、細川二君來校

三 日 藤原卓之、工藤一二三の二君來校

十 日 土岐宣治君來校

十九日 宮本昇君來校

廿一日 牛山作彌君來校

廿三日 會員現住所を會員に通知す

廿五日 西村敬之助君朝鮮水原府原蠶種製造所赴任

大正五年

一月八日 原田兵衛君本校助手となる

十二日 小山庸人君歸校の途來校

十三日 宮城嘉貞君來校

十五日 酒井末吉君歸校の途來校

廿日 小松原徳治君來校

二月七日 沖濤治君來校

八日 宮田鉄五郎君下伊那郡喬木村喬木館赴任

九日 永井君來校

十三日 坪井作平、大崎忠一兩君來校

廿一日 宮田君後任として坂卷文彦君助手となる

廿二日 若林万吉君來校

廿三日 牛山作彌君來校

廿四日 藤原卓之君來校

廿五日 伊藤競、塚田鎮麿君來校

三月二日

河合軍之助君來校

四日

加藤君來校石鹼製造を練習さる、同日藤澤文雄君來校、滞在石鹼製造を練習さる

八日

小林國造君北海道札幌農事試験場赴任の途路來校

九日

林部源三郎、久保田柳作君來校

十日

穗坂、小牧君視察旅行の途來校

廿一日

第三回卒業式舉行横濱より甲斐孜君、三龍社より小笠原安重君、埴科蠶種同業組合より飯島正胤君來校、懇親會を開く

廿七日

中川瀨君來校

三月廿八日

小松原德治、須田圭二君來校

卅一日

坂卷文彦君本校助手を辞して上伊那郡武井製絲場に赴任

四月十日

菅澤隆三、大名昇、飯島正胤君來校

全

小川君助手を辞し故郷に歸らる

十一日

平澤勝、齋藤格次、近藤正巳三氏本校化學部研究生となる

十八日

田附卯一郎君來校、朝鮮水原府原蠶種製造所赴任の筈

十八日

宮本昇君來校、山口縣に轉任の筈

- 二十日 沖濤治君横濱生絲検査所赴任の途來校
- 廿二日 宮田鉄五郎君喬木館主と共に來校
- 全 栗林悅君來校
- 廿三日 加藤徳四郎君來校石鹼製造實習のため
- 廿六日 岡部彌平、林貞三氏來校、水野健吉氏朝日奈教授の下に研究生とある
- 廿八日 北原保三氏二週間の豫定にて化學部に實習に來る
- 廿九日 田中教一君工業化學部に石鹼製造實習に來らる
- 五月一日 土屋保平君視察の爲來校
- 全 加美好男氏製絲部助手とある
- 二日 竹内眞喜雄氏來校す
- 全 近藤正巳氏化學部助手となる
- 四日 加藤徳四郎君歸場
- 八日 林部源三郎氏市原商店主と共に來校
- 十日 須田今三氏本校養蠶部助手となる
- 十三日 中澤勝也君本校養蠶部助手となる

十六日 北原保三君實驗を終り諏訪片倉組に歸る

十七日 竹内眞喜雄君來校

廿七日 塚田柁春君工藤善助氏と共に來校

會計報告

收入之部 (自大正四年四月一日至大正五年三月卅一日)

一金百四十七圓〇四錢

一金四圓

一金壹圓八拾錢

一金五拾壹圓五拾錢

計金貳百〇四圓參拾四錢

前年度繰越金

定光、波多野、松井、清宮、四氏三吉先生銅像
建設寄附金

第貳回卒業生寄附

同窓會費寄送金

支出之部 (自大正四年四月一日至大正五年三月卅一日)

一金八拾圓

三吉先生銅像寄附金納(發蠶科 四十三名 製絲科 三十七名)